

## 教員コメント

構図に流れるようなセンスを感じるとともに存在感の強い作品である。鉛筆の濃淡を巧みに操りながら光を強く意識し、逆光の中の白いモチーフのそれぞれの質感を描き分ける描写力は見事である。

## 教員コメント

凛としたものを感じる作品である。白いモチーフ台、アルミのテーブル、観葉植物のプラスチックの白い鉢のパスが正確に描かれているので、モチーフと作者の視線が安定している。



## 教員コメント

毛布のモフモフ感が伝わってくる、質感を前面に出した安定感のある作品である。しかしアルミのテーブルと観葉植物との位置関係が曖昧なのが惜しい。

## 教員コメント

自信を持った構図から、すべてのモチーフに目を配る繊細な感性が感じられる作品である。鉛筆の使い方が心地よい。モノの構造や形を捉える目を養いたい。

## 鉛筆デッサン (3時間)

## 入学試験問題

## 【問題】

机上のモチーフをデッサンしなさい。

## 【条件】

1. 答案用紙は縦横自由。
2. モチーフは必ずしも全体を描かなくて良い。

## 【出題意図と評価のポイント】

鉛筆デッサンの試験は、モチーフ台を半円に囲み、イーゼルの場所は抽選で指定した。モチーフは白い台の上のアルミニウム製の台が置かれ、その上に白いベビー用毛布、白いプラスチック鉢の観葉植物。白さと、それぞれの質感の違いが印象的だ。求めているのは、まず観察力。同一のモチーフがそれぞれの指定された位置からどのように見えるのか。そのためには、空間把握能力、つまりモチーフの形態と、台とテーブルとパスが正確に捉えられているのかが一つの基準となる。構図の取り方で作者の意図が表れる。さらに、人工物と自然物、それぞれの質感、仕組みの把握、光線の具合など、作者の観察力と描写力で各々の差異が立ち上がる。そして何より、作者が「何を」「どのように観て」「どう伝えたいのか」が明確な作品が高得点となった。



## 【配付物】

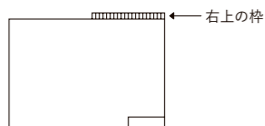
1. 試験問題
2. 答案用紙 (B3画用紙) × 1枚
3. 下書き用紙 (B4上質紙) × 2枚

## デザイン (3時間)

## 入学試験問題

## 【問題】

今までにあなたが体験した「音」の中から一つ選び、そのイメージを配付された文字、1辺20cmの正方形を用いて自由に色彩構成しなさい。  
画面右上の与えられた枠内に20字以内で、どのような音か記入しなさい。



## 【条件】

1. 配付された文字と正方形の形の変形(部分、拡大、裏返し、ゆがみ、繰り返しなど)は自由。
2. 使用する文字と正方形の数は自由
3. 使用する色数は自由。
4. 描画画面は与えられた紙面全体とする。ただし紙の余白は白色とみなすので、必要に応じて余白部分があってもかまわない。
5. 答案用紙は横長で使用すること。
6. 右上枠内の文字書き込み部分は塗りつぶさないこと。
7. 包装材はモチーフではない。

## 【配付物】

1. 試験問題
2. 答案用紙 (B3ケント紙) × 1枚
3. 切り抜き文字セット × 1セット
4. 1辺20cmの正方形トレーシングペーパー × 2枚(薄口 × 1枚、厚口 × 1枚)
5. 下書き用紙 (B4上質紙) × 3枚

## 【出題意図と評価のポイント】

配付された切り抜き文字セットと、トレーシングペーパーから得られる色と形を利用して、音のイメージを表現する問題である。音は眼で見ることができない。しかし、音に「大きい、小さい」「高い、低い」といった空間的なイメージを感じることもあれば、「流れる、止まる」「響く」といった動きのイメージを感じることもある。また、音によって風景や過去の出来事をイメージすることもできるかもしれない。この問題では、自分が経験した音の中から、色や形に置き換えられる要素やイメージを見つけ出し、画面上の表現に結び付けていくことがポイントになる。音の説明を書いてもらったのは、自分の経験した音と画面上の表現を、どのように結び付けたかを知りたいと考えたからである。  
また、配付物が持つ色や形から構成要素を見つけ出し、音の表現に利用していく力、言い換えれば、観察をもとにした表現力も見たいと考えた。出題にあたって、切り抜き文字のM O P Sは、特定の単語としては選んでいないので、作品の意図によって純粋な形として扱うことも、擬音語や言葉を表す文字として扱うこともできる。音を視覚化するというオーソドックスな出題ではあったが、さまざまな考え方をもち作品を見ることができた。



## 教員コメント

モチーフとガッツリ対話したのだろう、見つけた事象をうまく伝えたいという作者の意気込みが横構図に生かされ、おおらかにユーモラスな好感の持てる作品だ。



## 教員コメント

静的な作品で硬さが残っている。しかし反面、作者の「よく見る」姿勢が伝わってくる。そしてもう少し時間があればもっとよくなる可能性を感じる。



## 教員コメント

柔らかな毛布の物質感を執拗に追いかけた魅力のある作品である。白さの中の影の変化を正確に捉え、特に左下の暗部が作品に深みを与えている。



## 教員コメント

作者は植物が好きなのだろう。植物の生命感を強く意識して描かれている。この植物はこんな鉢に植えられ、こんなテーブルに載せられている。作者の見せたいものが聞こえてくるようだ。



## 教員コメント

強さや重さを感じる描写である。特に前に垂れた植物の葉とベビー用毛布の間の空間が魅力的だ。しかし形や物が置かれている位置が曖昧なのが気にかかる。



## 教員コメント

難しい位置から遠近感の間われる描写に挑戦している。作者はモチーフ台の上面、テーブルの上面、観葉植物を上から見下ろすそれぞれの接点に注目した。しかし右下の毛布が残念だ。



## 教員コメント

植物の伸びやかさを感じさせ、繊細かつ力強い作品である。特に四方に伸びる緑の葉先が空間にリズムを与えているのが心地よい。



## 教員コメント

大胆に植物を切った横構図の意欲的な作品である。硬く冷たいアルミテーブルにまわりつく柔らかいベビー用毛布の違いが主役になった。





ギャンギャンと稲妻の様な  
ギターソロが轟く

教員コメント

トレーシングペーパーをアルミホイルのような金属的イメージに加工し、ギターの音質を感じさせることに成功している。それに加え、力強いストロークをMで稲妻の形と色に置き換えることで、激しい演奏スタイルまでもが見えてくる作品だ。



バンッ!とはじけるパーティーの音。

教員コメント

柔らかくしなせられたPが、パーティーを盛り上げるクラッカーの軽快な音を感じさせる。細長くちぎった明るい色のトレーシングペーパーの浮遊感と透明感が、いっせいに飛び出してくる音と重なって、賑やかで楽しい雰囲気を作っている。



力をこめてけずった最初の一彫りの音

教員コメント

「M」の上部を活用し、削り取られた微小な部分をうまく表現している。また、全体を寒色系、削り取られた部分を明るい暖色系にすることで、「力をこめてけずった」や「最初の一彫り」がよく表現されており、そこから、見る者に削られる音を想像させる作品になっている。



プールサイドの応援の声

教員コメント

モチーフのゴムという特性をうまく利用して、プールサイドでの人間の躍動感がうまく表現されている。またその躍動感から夏のプールサイドでの音を想像させることに成功している。



夕暮れ時の浜辺で聞いた  
打ち寄せる波の音

教員コメント

有機的な曲線と幾何学的構成の対比、そして暖色から寒色へのグラデーション。その双方によって波の音は過不足なく表現されている。具象に頼り切らない形と色、その硬軟取り混ぜたギリギリの抽象化が紙面を貫いている。



ぼとりぼとりと落ちる水の音

教員コメント

物音一つしない深夜。暗闇の中からかすかに、しかしやがて異様なほどはっきりと聞き取れる水滴の音がする。布団にもぐり込んだ作者の顔全体に広がる情景は、したたり落ちる水滴の音の幻影か。



カサカサと落ち葉を踏み鳴らす。

教員コメント

あたり一面真黄色の落葉で埋まった街路。そこを歩き交う人々の足音。急ぎ足の人、ゆったりとした足取りの人、飛び跳ねる子どもたち。文字は靴底に見立てられ、それぞれのリズムが交差して晩秋のハーモニーが奏でられる。



私の眠りを切りさくように鳴る  
アラームの音

教員コメント

眠りを切りさく目覚まし時計の音をわかりやすいイメージで組み立てているのだが、破いたトレーシングペーパーを用いた半透明のぼんやりした眠気や、朝日らしい黄色の輝きが秀逸で、そこにビビビビという音が聞こえてくる臨場感もある。





鼓膜が破けそうな程大きな太鼓の音

教員コメント

有機的で歪んだ「O」の形が鼓膜に見立てられ、大音響によって細かく砕けている瞬間が躍動感を持って表現されている。灼熱の赤と漆黒の間の対比、疎と密の使い分けも見事で、迫力と緊張感あふれる作品となった。



夜中のキッチンから  
聞こえてくる水滴の音

教員コメント

中空に頼りなく浮かぶモチーフは水滴の比喩であろうか。上方からの澄んだ明かりの表現がいつそう周囲の闇を際立たせ、真夜中の静寂と、かすかな音に耳を澄ます作者の孤独感が、夢のような美しいイメージとして表されている。



雑音の中から懸命に  
連絡を知らせる着信音

教員コメント

大量に配置された赤い文字の上に、光るように透けたトレーシングペーパーが、吸い込まれるように置かれている。トレーシングペーパーを際立たせながら、画面の片隅に配置することで、雑音の中で鳴る音が表現されている。



音楽に含まれるアクセントのきいた音

教員コメント

輪郭を波形のように変形させた文字の上に、微妙な調子の差によって表現されたトレーシングペーパーが重ねられている。トレーシングペーパーが重なった箇所に見える曇った色と、重なっていない箇所に現れる鮮やかな色の対比が、音楽の調子の変化をイメージさせる。



水面から降って響く人々の声

教員コメント

モチーフの柔らかさを、「水面から降る音」というゆらめきやはかなさや響くという表現にうまく変換している。水の中にいる人が聞く、水の上にいる人たちの声という着眼点も面白い。



上から押し潰してくような重厚な音。

教員コメント

大きく変形させた文字を大胆にトリミングしたことによって音の「圧力」を効果的に表している。文字のディテールに施されたビビッドな色が、音の重厚さとそれによる振動をも表現しており、細部に渡る作者のこだわりがうかがえる。



思わず体がノってしまうポップな音

教員コメント

文字がひねりながら光に向かって動き出す躍動的な構成。ピンクと濃紺を基調とした強いコントラスト。小さな粒の集積によって移り変わる彩度の变化。これらの繊細な表現が、音楽のリズムに合わせて思わず体が動き出してしまふ心理を捉えている。



ぐわんぐわんと  
脳内で響くような鐘の音

教員コメント

切り出された「S」の大胆な配置と、文字が溶け出し揺れ動いているかのような印象を与える繊細なグラデーション。これらが重厚で強い鐘の音と、鼓膜を震わせ脳内でリフレクションを起こしている様を表現している。